

新規作物(大麦若葉・ハトムギ)の試験栽培

状況

島根県 大田市 大邑土地改良事業開発地区(横谷)

地区概要: 農地面積28.05ha(うち耕作放棄地5.40ha)
 荒廃の理由: 後継者不在
 荒廃の程度: 雑草繁茂、樹木侵入。重機による作業が必要
 全体調査の区分: 黄



再生作業前

取組概要

対象面積: 93a(畑)
 実施期間: 再生作業:平成21年12月15日～平成22年3月31日
 栽培実証:平成22年4月1日から
 取組のきっかけ: 健康食品は今後需要拡大が推測され、安定した収量確保を図るため、栽培技術の蓄積を図った。再生作業から営農定着までの一連の実証で得られた知識や技術を県普及部等関係機関と共有し、市内の認定農業者など担い手へ紹介し、波及させていくために実証ほとした。
 調整経緯: 「有機の美郷」は有機農業による農産物の生産、加工、販売等を行う農業生産法人であり、大麦、ハトムギ、ナタマメ等の健康食品を生産している。美郷町においても、平成20年度に耕作放棄地再生利用事業を利用し農地の再生を実施しているため、実証ほの利用者とした。
 取組主体: 大田市耕作放棄地対策協議会 (利用者は有機の美郷(有))
 取組作物: 大麦若葉、ハトムギ
 作業内容: 雑草や樹木の刈り払い、整地、土壌改良
 実証状況: 有機農法により、大麦若葉・ハトムギを生産し、生育状況を確認する。
 出荷先: 自社加工。

今後の予定

作物の栽培管理や生育状況に加え、鳥獣被害対策についても協議会HP等で紹介する予定。

再生状況



再生作業中(抜根)



再生作業後



大麦若葉栽培中



電気柵



ハトムギ栽培中



ハトムギ

現状

省力営農(飼料作物の不耕起栽培)の試行

状況

島根県 大田市 大邑土地改良事業開発地区(新谷)

地区概要: 農地面積55.60ha(うち耕作放棄地1.85ha)

荒廃の理由: 後継者不在、鳥獣害

荒廃の程度: 雑草が繁茂しており、農業機械による作業が必要

全体調査の区分: 黄



再生作業前

取組概要

対象面積: 92a(畑)

実施期間: 再生作業:平成22年3月10日～平成22年3月31日

栽培実証:平成22年4月1日から

取組のきっかけ: 大田市は畜産が盛んであり、不耕起による飼料作物栽培を行い、栽培技術の蓄積を図った。再生作業から営農定着までの一連の実証で得られた知識や技術を県普及部等関係機関と共有し、市内の認定農業者など担い手へ紹介し、波及させていくために実証ほとした。

調整経緯: 利用者は近郊で牧場経営を行っている。不耕起による飼料作物栽培を行い、また、農閑期には牛の放牧を行う。

取組主体: 大田市耕作放棄地対策協議会 (利用者は畜産農家)

取組作物: 飼料作物(イタリアングラス、白クローバー)

作業内容: 雑草の刈り払い、土壌改良、用排水整備、牛の給水装置の設置

実証状況: イタリアングラス、白クローバーなどの飼料作物の生産を行い、耕起せずに肥料投入後そのまま播種をする不耕起栽培を行う。現在は牛数頭を放牧中。

出荷先: 自給飼料。

今後の予定

引き続き利用者が利用し、成果については協議会HP等で紹介する予定。

再生状況



再生作業後



放牧中



給水装置



放牧中



牧草

現状